

みずほCustomer Desk Report 2018/07/19号(As of 2018/07/18)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	112.99 AUD/USD
TKY 9:00AM	113.02	1.1654	131.70	1.3107	0.7379
SYD-NY High	113.14	1.1665	131.75	1.3117	0.7408
SYD-NY Low	112.71	1.1602	130.89	1.3010	0.7344
NY 5:00 PM	112.84	1.1639	131.38	1.3071	0.7398
NY DOW	25,199.29	79.40	日本2年債	-0.1300	0.00bp
NASDAQ	7,854.44	▲ 0.67	日本10年債	0.0400	0.00bp
S&P	2,815.62	6.07	米国2年債	2.6134	0.02bp
日経平均	22,794.19	96.83	米国5年債	2.7720	1.03bp
TOPIX	1,751.21	6.16	米国10年債	2.8738	1.47bp
シカゴ日経先物	22,885.00	10.00	独10年債	0.3395	▲ 0.25bp
ロンドンFT	7,676.28	49.95	英10年債	1.2260	▲ 3.35bp
DAX	12,765.94	104.40	豪10年債	2.6415	▲ 2.00bp
ハンセン指数	28,117.42	▲ 64.26	USDJPY 1M Vol	6.89	▲ 0.04%
上海総合	2,787.26	▲ 10.87	USDJPY 3M Vol	7.33	0.03%
NY金	1,227.90	0.60	USDJPY 6M Vol	7.63	▲ 0.03%
WTI	68.76	0.68	USDJPY 1M 25RR	-0.45	Yen Call Over
CRB指数	191.47	0.38	EURJPY 3M Vol	7.81	0.11%
ドルインデックス	95.08	0.14	EURJPY 6M Vol	8.23	▲ 0.06%

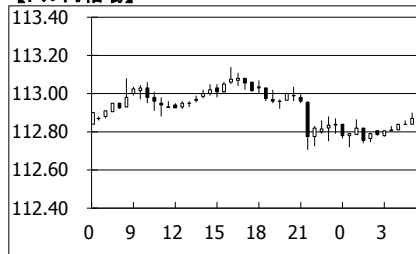
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
7月18日	09:00	米 ジョージ・カンザスシティ連銀総裁「金利を中立にするため漸進的な利上げが必要」		
	17:30	英 CPI(前月比/前年比)	6月 0.0%/2.4%	0.2%/2.6%
	18:00	欧 CPI(前月比/前年比)・確報	6月 0.1%/2.0%	0.1%/2.0%
	21:30	米 住宅着工件数/建設許可件数	6月 1173k/1273k	1320k/1330k
	23:00	米 パウエルFRB議長「インフレ見通しのリスクはほぼ均衡、しかし物価伸び悩みの懸念は根強い」		
7月19日	03:00	米 ペーजूブック「大半の地区で緩やか乃至緩慢に成長。全ての地区で関税への懸念を表明」		

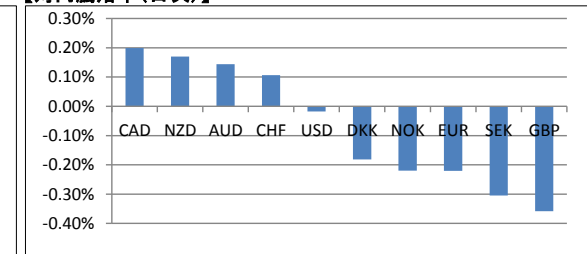
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
7月19日	08:50	日 貿易収支	6月 ¥531.2b	-¥580.5b
	10:30	豪 雇用者数変化/失業率	6月 16.5k/5.4%	12.0k/5.4%
	17:30	英 小売売上高(除自動車燃料、前月比/前年比)	6月 0.1%/3.7%	1.3%/4.4%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	- 220k	214k
	21:30	米 フィラデルフィア連銀景況指数	7月 21.5	19.9
	22:00	米 クォールズFRB理事講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	112.50-113.50	1.1600-1.1700	131.00-132.00

【マーケット・インプレッション】

昨日海外市場のドル円相場は反落。パウエルFRB議長が利上げ路線継続につき議会証言で言及したこと等を背景にアジア時間は約半年振りに113円台まで上昇したものの、海外市場に入ってから戻り売り優勢の展開となり、円高が進行。本日の見通しに関しては、昨日のページブックでも示されたように足許の米経済は総じて底堅く、貿易摩擦を背景としたヘッドラインリスクは依然燦々たるものの、大きくリスクオフへと相場が反転する可能性は薄れたように感じる。昨年11月につけた直近高値114円が視野に入ってきたが、そのレベルは昨年3回跳ね返されており、続伸する場合は徐々に上値が重くなるものと思われる。

アジア	ドル買い地合いのなかドル円は早朝に113.08を示現後、東京時間は113.02レベルでスタート。日中は輸出企業のドル売りに112円台に押し戻される局面も見られたが、終盤はドルが全般的に底堅さを見せ再び113円台に乗せた。113.05レベルで海外市場へ。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、113.05レベルでオープン。アジア時間の流れを引き継ぎ113.14まで上昇したが、利益確定の売りに押され112.96レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.3083レベルでオープン。低調な英6月CPIを受けて大きく下げる展開となり、1.3023レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場でドル買いが継続し、1/9以来に113円を上抜けし、一時113.14まで上昇したドル円は、「中国が米国のWTO提訴を批判」とのヘッドラインもあり、112.92まで反落し、112.96レベルでNYオープン。朝方は、利益確定の売りが先行し、112.71まで下落する。米6月住宅着工件数が予想を下回り、前回分も下方修正され、建設許可件数も予想を下回ったことからドル円の戻りは鈍く、安値圏での推移が暫く続くが、クロス円が上昇する展開にドル円は112.88まで戻す。その後再び反落する局面もあったものの、終盤に掛けてドルがやや買い戻されたことから112.90まで戻し、112.84レベルでクロスした。一方、海外市場でドル買いが継続したことから1.1605まで下落し、1.1608レベルでNYオープン。朝方は海外市場の流れを引き継ぎ1.1602まで下落する局面もあったものの、このレベルでは買い意欲もあり、その後はドルの利益確定売りが優勢となったことからユーロドルは1.1662まで戻す。午後は、調整からやや小緩み、1.1639レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:末木・鶴田